

ネイルサロン、ネイルスクール経営者、ネイル従事者の皆様へ

行動自粛の成果と引き続きご協力をお願い

NPO 法人日本ネイリスト協会
理事長 仲宗根幸子

平素より当協会の活動及びネイル産業の健全な発展のためにご協力とご理解をいただき厚く御礼を申し上げます。

4月7日の「緊急事態宣言」を受けて、当協会もネイルに従事されている皆様に「行動自粛」のお願いをしてまいりました。経済的にも精神的にも逼迫した状況の中で多大なご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

また、行動の自粛というお願いにもかかわらず、大変なご努力と我慢をして頂いたおかげで、ネイルスクールやセミナーでのクラスター感染やネイルサロンが感染源となったなどの報道や協会への報告は今ありません、皆様のご苦勞が一筋の光明となり、長いトンネルの出口を照らし始めています。

5月4日の政府発表で「緊急事態」は5月31日までの延長となり、その後8日に新たな感染者の少ない地域については緩やかな解除が認められています。解除された地域のネイルサロンやネイルスクールでは営業を再開される場所もあると思います。

しかし、まだ収束したわけではありません。「人の移動」は「ウイルスの移動」にも繋がります。営業を再開するには今まで以上の注意が必要になります。サロン内、スクール内の衛生管理に加えて、プライベートな時間であっても、これまで規制されてきた三密や不要の外出、集まりなどの自粛を引き続き行うこと、それが大切なお客様を守ることに繋がります。

また、感染していても自分では分からない「サイレントキャリア」。無症状というやっかいな新型コロナウイルス。自分だけは感染しない、していないと思うのは危険です。今ならばマスクにフルフェイス、または「アイガード」を使用して接客しても失礼にはならず、ファイルダストから目を守るためにも、この機会に習慣化させるのも良いと思います。

世界一感染者を出しているニューヨーク市は感染源の発表をしています。一定地域を設け統計をとったところ、新型コロナウイルスの最前線で働いている医療従事者よりも、一般市民の感染率が非常に高いという発表がありました。これを受けてニューヨーク市長は、医療従事者は「マスク、徹底した消毒（手洗いを含む）、手袋、防護服のおかげ」だとコメントしています。

手袋や防護服までは無理であっても、仕事着は毎日洗濯した清潔なものを着る、髪は垂れないようしっかりとまとめる、対面での会話をしない（お客様の了承を得て）など、ネイルサロン、ネイルスクールでも出来るはずです。

新しい感染者が少なくなっている都市や地域にも、いずれ規制の緩められる日が来ます。しかし専門家たちは夏に向かって休息しても、秋から冬にかけて二波、三波が来ることは充分あると言っています。そんな予想がハズレるように、私たち庶民の知恵で乗り越えていきたいと思います。

海外の国々では営業や外出禁止など厳しい法規制の報道を見ますが、自戒のお願いで罰則の無い我が国においては、ネイル従事者はもとより、国民の「我慢の協力」を得て、拡大が抑えられています。

このままで収束を見ることが出来れば、どの国も出来得なかったこととして「賢い国民」との世界での評価を得ることになるでしょう。新型コロナウイルスの治療薬、PCR検査の拡大、抗体検査、抗原検査など、遅きにあらずも明るい報道も多くなって来ました。

「今、出来ないことを考える」のではなく「今、出来ることをする」。

今ひと度のご苦勞が強いられますが、希望を持って、力を合わせ、この困難を一緒に乗り越えて、明るい未来を呼び戻しましょう。